



2026 FJ Japan League Rd.6



2026 年 オートポリス FJ1500/Super FJ 選手権

GOLD CUP RACE 2026 in AUTOPOLIS Round.4

2026 年 9 月 13 日(日) 天候:晴れ 参加 15 台 (FJ1500/6 台、S-FJ/9 台)



全国転戦の「FJ ジャパンリーグ」は第 6 戦となりオートポリスでの開催となる。そして、地方選手権のオートポリスシリーズは全 5 戦で争われ、今回がその第 4 戦となる。

FJ ジャパンリーグは酒井翔太選手をはじめ、ポイント上位の選手の多くが不参加、というのも同日に FJ レースがもてぎ開催されており、今年の「FJ 日本一決定戦」の開催がもてぎ開催なので、そちらに参加したドライバーが多かった為でもある。よって、遠征ドライバーが「マスターズシリーズ」のポイントリーダー、#16 青合正博選手(RT HERO'S Rn-Sports)と同 3 位の#4 古里拓選手(HOLOS レヴレーシング ガレージ)だけなのが残念なところだが、このふたりは間違いなく「マスターズ」のチャンピオンを狙っているだけに、今回も一騎討ちに期待がかかる。

一方、オートポリスシリーズの FJ1500 は、第 2 戦から#51 永原蒼翔選手(ピットワークながはら /MYST)が2連勝を飾っており、今回も勝てば最終戦を待たずしてチャンピオンが決まる。スーパーFJ も#75 坂本秀平選手(UI オートサービス ORM/C.O.B)が開幕3連勝。こちらも勝てばチャンピオン決定となる。

■公式予選

早朝のオートポリスは上空に青空が広がっていたが、路面の一部は濡れていた。夜半のうちに雨が降ったためだが、FJの予選が行われる頃にはほぼドライアップしていた。

2番目にコースインした#51 永原選手は、第2ヘアピンでは先頭に立ち、クリアラップがしっかり取れる状態でアタックを開始する。計測1周目はウォームアップに充てて、計測2周目から全開に。まずは1分59秒047をマークしてトップに浮上し、その後の3周こそタイムアップできなかったものの、ラストアタックとなる計測6周目に1分58秒934を叩き出し、ポールポジションを獲得する。

2番手以下は目まぐるしく順位が入れ替わり、計測2周目には#75 坂本選手が2分1秒393で、スーパーFJの#13 佐藤修平選手(株式会社あおい空調 COB タツミ)、#11 岸風児選手(ドッグライフプランナーズ・タツミ KKS2)、そしてFJ1500の#15 楊昌樹選手(LBJ-Wakida Racing)を従える。だが次の周には#15 楊選手が2分0秒703、#11 岸選手が2分0秒816、そして#75 坂本選手が2分1秒082で続けば、計測4周目には2分0秒306の#75 坂本選手、2分0秒402の#11 岸選手、そして#15 楊選手の順に入れ替わる。

その後、しばらくは上位のタイムが伸び悩むも、最後の最後に#75 坂本選手が1分59秒862にまで縮めて2番手を確実なものとし、スーパーFJのトップも獲得する。その時点で#11 岸選手はピットに戻っていたからだ。

4番手はFJ1500では2番手となる#15 楊選手で、さらにマスターズシリーズのトップも獲得。5番手がスーパーFJで3番手の#13 佐藤選手で、6番手がF1500で3番手の#16 青合選手となっており、クラスが入り混じっていることから、決勝が混戦となることが大いに予想された。

ポールポジション(FJ1500) 永原 蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)

「目標タイムには届かなかったですね、路面が悪かったのです。その中でも路面を把握しつつタイムを出さないといけなかったんで、そこは落ち着いて出せたかなと思います。決勝は雨も降りそうですし、落ち着いた走りでちゃんと1位を獲って、チャンピオンも獲ろうと思っています」



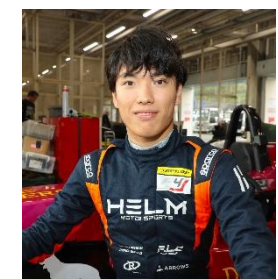
予選2位(スーパーFJ) 坂本 秀平選手(UI オート ORM/C.O.B)

「ここ3日間の中でいちばん路面が悪くて、めちゃめちゃ難しかったです。今までどおり攻めていくと途端にリヤが流れていってしまうので、なかなか途中までまとまらなくて、ようやく最後のラップにノーミスで走ることができました。決勝は、もう行くしかないですね。なるようになって、あまり気負わず頑張りたいと思います」



予選3位(スーパーFJ) 岸 風児選手(ドッグライフプランナーズ・タツミ KKS2)

「前半は前の坂本選手よりもちょっと速いタイムが出てい。ただ、残り2周ぐらいになって、僕はもうタイヤを使い切っていて、まったく更新できる状況じゃなかったの、結果的にはコンマ6近く離されて、ちょっと悔しいんですけど、決勝は雨が降りそうじゃないですか？ オートポリスの雨はほとんど走ったことないんですが気持ちを切り替えて、どこまで自分が通用できるか、信じて決勝を走りたいと思います」



■決勝レース



雨雲レーダーによれば、周辺では雨が降ったり、雨雲が近づいていたりするのだが、オートポリスのあたりだけは雨雲の切れ間となっていた。決勝レースに関しては、まったく雨の心配をせずとも済むようだ。

10 周で争われる決勝レースのスタートを誰より決めたのはポールシッターの#51 永原選手。そして、その背後ではイン側グリッドからまっすぐ進路を取った#11 岸選手が、#75 坂本選手に並んで 1 コーナーに。ブレーキングを遅らせて逆転を阻止しようとした#75 坂本選手だったが、軽いオーバーシュートがあって失速。#11 岸選手ばかりか、#15 楊選手の先行をも許し、4 番手に後退してしまう。

後方でのバトルを尻目に、さっそく逃げの構えに入った#75 永原選手、そして#11 岸選手、#15 楊選手、#75 坂本選手の順で 1 周目を終えるが、その直後にストレートで並んだ#75 坂本選手は、1 コーナーまでに完全に前へ。

一方、5 番手を争うのは#16 青合選手と#13 佐藤選手。そして 7 番手争いも激しく、#6 DON LUCIANO 選手(LBJ レーシング)と#31 古賀徳吉選手(CS フクダ★碑文谷薬局★若狭建設 COB)、#19 大隈雄策選手(オガテック三島自動車 KK-F ED)も一列で連なっていた。

3 周目の 1 コーナーでは、#13 佐藤選手が#16 青合選手を抜いて 5 番手に上がると、続いて#15 楊選手にも迫っていく。

抜かれた#16 青合選手はアウェイの身、逆にホームのドライバーたちのみ知る“道”を通られ、今度は#6 DON LUCIANO 選手ら 3 台の接近を許すことに。ただ着いていだけでは満足せず、我れもと動いたのが#19 大隈選手、8 周目の 1 コーナーで#31 古賀選手をパス。当然、再逆転を#31 古賀選手も狙ったもの



の、9 周目の第2ヘアピンのスピンで順位を落とす。ひとり冷静に#16 青合選手の隙を待った、#6 DON LUCIANO 選手は 1 コーナーで#16 青合選手を攻略。



最後まで続いた後続のバトルを知る由もなく、トップ3はそれぞれ単独走行のままチェッカーを受けることに。5 秒6もの差をつけ、3 連勝を飾った#51 永原選手は FJ1500 のチャンピオンを獲得。

そして 2 秒差をつけられてからは、着かず離れずの展開とな

っていたスーパーFJのトップ争いは、逃げ切った#11 岸選手が初優勝。#75 坂本選手の連勝を止めることはできたが、有効得点の関係で最終戦を勝っても逆転ならず。#75 坂本選手の王座も決定した。そして4位でゴールの#15 楊選手は、FJ1500の2位とマスターズシリーズの優勝を獲得。続いた#13 佐藤選手が同クラスの2位とスーパーFJの3位を得ることに。そして6位は#6 DON LUCIANO 選手となった。

次のジャパンリーグは、10月3(土)・4(日)に鈴鹿サーキットで行われる。FJの最激戦区だけに、熾烈な戦いはもはや必至である。



優勝:永原 蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)

「普通に、自分のベストを尽くそうと頑張っていこうというペースでやっていたので優勝出来て良かったです。チャンピオンも決まりましたし、FJ1500 初代ということで今後も継続していけたらいいんですけど、初代チャンピオンってことを忘れずに、もっともっと頑張っていこうと思っています！」

第2位:岸 風児選手(ドッグライフプランナーズ・タツミ KKS2)

「予選のタイムの出し方から見て、最初の5周ぐらいは自分にアドバンテージあるのはわかっていたので、スタートで前に出られれば、もしかしたらチャンスあるかなと。スタートは苦手ではないので、普通にはスタートできるだろうと思っていたんですが、思った以上に良かったです。メカニックさんに言われた走りの修正もうまくできて、最後までタイヤも保たせられました！」

第3位:坂本 秀平選手(UI オートサービス ORM/C.O.B)

「やられちゃいました(苦笑)。スタートミスっちゃって、それでも風児くんの後ろに着いていければと思っていたんですが、もうワンポジション落ちちゃって、それでギャップができたのが、ちょっと痛かったです。でも、スーパーFJのチャンピオンが決まって良かったです。次こそ、また勝ちます」



「マスターズ」の表彰台 2位 佐藤 修平選手 1位 楊 昌樹選手 3位 DON LUCHIANO 選手



Rd.1	5月17日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップレース
Rd.2	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.3	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.4	7月18日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップレース
Rd.5	8月30日	筑波サーキット	筑波チャレンジクラブマンレース
Rd.6	9月13日	オートボリス	ゴールドカップレース
Rd.7	10月4日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Final	11月22日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース

[illegible]

2026 FJ マスターズシリーズ ポイント表

レーススケジュール



Rd.1	5月17日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップレース
Rd.2	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.3	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.4	7月18日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップレース
Rd.5	8月30日	筑波サーキット	筑波チャレンジクラブマンレース
Rd.6	9月13日	オートポリス	ゴールドカップレース
Rd.7	10月4日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Final	11月22日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース

ポイントランキング

[illegible]



GOLD CUP RACE ROUND.4

2026 in AUTOPOLIS



14

スーパーFJ・FJ1500 地方選手権 第4戦

FJ 公式予選

2026 / 9 / 13 日 : 87



正式結果

Weather : 晴れ

Track : ドライ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	51	FJ1500	1	永原 蒼翔	ビートル・クナがはらMYST	MYST KK-F	1'58.934	7 / 8		141.477
2	75	S-FJ	1	坂本 秀平	Ultimate・ビートル・C.O.B	MYST KK-S II	1'59.662	8 / 8	0.928	0.928 140.381
3	11	S-FJ	2	岸 風聖	ドッグ・ライフ・コンナース・タキKKSS2	MYST KK-S II	2'00.402	5 / 8	1.468	0.540 139.752
4	15	G FJ1500	2	藤 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-F	2'00.703	4 / 8	1.789	0.301 139.403
5	13	G S-FJ	3	佐藤 修平	株式会社あおい空調COBがは	MYST KK-S II	2'01.275	4 / 8	2.342	0.573 138.745
6	16	G FJ1500	3	青倉 正博	RT HERO'S Rn Sports	MYST KK-F	2'01.288	8 / 8	2.354	0.012 138.731
7	98	G S-FJ	4	JUN	BlueStyle・オク・マック-ER2C	MYST KK-S II	2'01.492	7 / 7	2.558	0.204 138.498
8	6	G FJ1500	4	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KK-F	2'01.629	8 / 8	2.695	0.137 138.342
9	19	G FJ1500	5	大隈 雄策	オク・マック 三島自動車kk-F ED	MYST KK-F	2'01.981	6 / 8	3.047	0.352 137.943
10	31	G S-FJ	5	古賀 徳吉	CSがは★神文谷薬局★新保建設COB	MYST KK-S II	2'02.543	4 / 8	3.609	0.582 137.310
11	4	G S-FJ	6	古里 拓	HOLOS・レーシング・レーズ	MYST KK-S II	2'03.115	6 / 7	4.182	0.573 136.671
12	14	G S-FJ	7	TERUO	TEAM FALCON No.11	MYST KK-S II	2'03.709	4 / 8	4.775	0.593 136.016
13	61	G FJ1500	6	山浦 寛智	DRB MYST KKF	MYST KK-F	2'04.515	4 / 7	5.581	0.806 135.136
14	58	G S-FJ	8	綾 真剛	WEST17J	WEST17J	2'08.605	5 / 7	7.871	2.090 132.905
15	30	G S-FJ	9	山内 比呂志	connect racing	MYST KK-S II	2'08.210	5 / 7	9.276	1.605 131.241

***** 以上予選通過 (FJ1500 : 2'36.400 - 130% /S-FJ : 2'36.667 - 130%) *****

Entry : 15 Start : 15

Start Time : 10:30'00

Finish Time : 10:45'00

スーパーFJ・FJ1500 地方選手権 第4戦

FJ 決勝

2026/9/13 17:03



正式結果

Weather : 晴れ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track : ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Gap	Ave. km/h	Best Time
1	51	FJ1500	1	永原 蒼翔	ビットワークながはら/MYST	MYST KK-F	10	20'03.207		139.122	1'59.681
2	11	S-FJ	1	岸 風児	ドッグライフプランナーズ・タツミKKS2	MYST KK-S II	10	20'09.081	5.873	138.446	2'00.403
3	75	S-FJ	2	坂本 秀平	UIオートサービスORM/C.O.B	MYST KK-S II	10	20'11.650	8.443	138.153	2'00.231
4	15	G FJ1500	2	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-F	10	20'25.127	21.919	134.476	2'01.218
5	13	G S-FJ	3	佐藤 修平	株式会社あおい空調COBタツミ	MYST KK-S II	10	20'31.209	28.001	135.958	2'01.676
6	6	G FJ1500	3	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KK-F	10	20'35.529	32.321	135.483	2'01.767
7	16	G FJ1500	4	青合 正博	RT HERO'S Rn Sports	MYST KK-F	10	20'36.674	33.467	135.357	2'02.445
8	19	G FJ1500	5	大隈 雄策	オガネック 三島自動車kk-F ED	MYST KK-F	10	20'37.596	34.388	135.256	2'02.431
9	98	G S-FJ	4	JUN	BlueStyle・オガネック・ER2C	MYST KK-S II	10	20'45.827	42.620	134.363	2'03.125
10	31	G S-FJ	5	古賀 徳吉	CS777★碑文谷薬局★若狭建設COB	MYST KK-S II	10	20'49.569	46.361	133.960	2'02.036
11	4	G S-FJ	6	古里 拓	HOLOSレーシングカレッジ	MYST KK-S II	10	21'02.020	58.813	132.639	2'04.431
12	61	G FJ1500	6	山浦 貴智	DRB MYST KKF	MYST KK-F	10	21'11.652	1'08.445	131.634	2'05.000
13	58	G S-FJ	7	綾 真則	WEST17J	WEST17J	10	21'33.789	1'30.582	129.382	2'07.431
14	30	G S-FJ	8	山内 比呂志	connect racing	MYST KK-S II	10	21'46.810	1'43.603	128.093	2'08.874
***** 以上完走 (規定周回数 FJ1500 : 9Laps /S-FJ : 9Laps) *****											
14	G	S-FJ		TERUO	TEAM FALCON No.11	MYST KK-S II	2	6'42.904	8Laps	81.363	4'03.018

Fastest Lap

FJ1500	1'59.681 (8 / 10)	140.594 km/h	51	永原 蒼翔 / ビットワークながはら/MYST
S-FJ	2'00.231 (6 / 10)	139.951 km/h	75	坂本 秀平 / UIオートサービスORM/C.O.B

Start Time : 15:54'40 Finish Time : 16:14'43

Entry : 15 Start : 15 Finish : 14

黒白旗提示 : CarNo.6 (CarNo.31に対するドライビングマナー)

